

令和5年度 羽咋小 校長室だより



ハマナス

6月 初夏の彩り号 R5. 6. 14 No. 5



6月全校集会！めあて、学び方、交通安全を共有！

6月1日（木）に、6月の全校集会を行いました。

はじめに、「校長先生のお話」として、5月のめあてについて振り返りました。5月は、羽咋小の授業スタイル「探究パラダイス」の重点の確認、全校体育の実施、見守り隊の方々を招いてのラジオ体操の実施が主な取組でした。授業では、「考えたい！」という端的なスタートと、「わかった！」「できた！」というゴールをめざし、各学年でICTを効果的に活用しながら学ぶ姿が見られました。また、初めての全校体育や2年目となる見守り隊の方々とのラジオ体操については、前号でお伝えした通り、児童の張り切って頑張る姿があり、有意義な時間となりました。

6月は、最高峰をめざすための3める「きめる」「きわめる」「たしかめる」に重点を置き、学習面でも生活面でも、自ら選択・判断・決定し、その意欲に支えられて目標達成をめざすことに力を入れていきます。これは「自己決定」と言われるもので、自らの意思で決定することで、困難にもあきらめずに挑む意欲や力が高まると言われています。指示を待つのではなく、主体的に取り組んでいく姿をめざします。

また、「楽しかった」「頑張った」という情意面だけでなく、問題を解いたり、新たな課題を見つけたり、自分でこんな力が身に付いたと実感できたりする確認の場面も大事にします。本当に理解し、できるようになったという実感が自信につながり、自分自身を高めることになると考えています。

次に、6年生による、授業の受け方についての発表がありました。「わかりました」で終わるのではなく、「いいね」「なんで？」「間違ってるかもしれないけど～」など、自ら積極的に友達の見解に働きかけ、みんなで思考を深めていくための「アクティブワード」について、寸劇などを通して学びました。みんなで実際に声に出し、練習できたのもよかったです。6年生の皆さん、分かりやすくすてきな企画でした。

HAKUI DREAM, PRIDE, SMILE !
そろえる！「地に足付けて、土台作り！」

6月の「そろえる」

①学習で、「きめる」「きわめる」「たしかめる」！
・「このやり方に決めたよ」
・「対話しながら、どんどん深めたよ」
・「たくさん問題を解いて、よくわかったよ」

②生活で、「きめる」「きわめる」「たしかめる」！
・「係の仕事、こんなことも考えてできたよ」
・「あいワード、きちんとできたよ」

自分で決めて、自分でやり抜く！



創作劇で羽咋小の学び方を伝授！

最後に、正しい自転車の乗り方について、生徒指導担当の笠間先生からお話がありました。先般、3年生の自転車教室が行われたこともあり、交通ルールに則った正しい自転車の乗り方について、全員で確認しました。また、低学年は家の人の見ている範囲で、中・高学年は校区内で乗ることができることも共有しました。意外に、校区内とはどこまでなのか曖昧な部分もあり、「あそこは、行ってはダメなんだ」というつぶやきも聞こえてきました。校区がどこまでなのかを知る機会にもなりました。



「ヘルメットかぶっていますか」「はい！」

いよいよ1学期も後半戦です。梅雨時で体調管理にも留意しながら、3めるで学習面・生活面のTEPPENをめざします。



舞台上で、授業を再現！



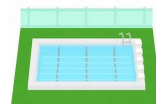
「みんなもいっしょに！」



劇に没頭！下級生！



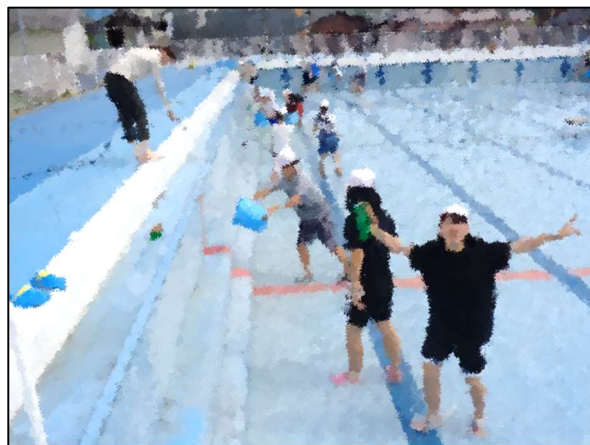
プール掃除、頑張りました！



6月1日（木）の5・6限に、プール掃除を行いました。

この日、6年生は小プールと大プールに分かれ、たわしやデッキブラシを使って、側面や床面の汚れを落としていきました。天候にも恵まれ、多少の水がかかっても気にせず、繰り返しこすっていきました。特に、黒ずんだ部分の汚れは何度こすっても落ちにくく苦勞しましたが、汚れが落ちたときの喜びは大きかったですね。後半は、5年生も除草作業を行い、プールの周辺はとてもきれいになりました。最後に、6年生全員で記念撮影を行いました。掃除道具を手に、思い思いのポーズでカメラに収まっていました。皆さんの笑顔がとてもすてきでした。

その後、教職員によるシート貼りやテント設営も行いました。これで環境整備はほぼ終了しました。皆さん、お疲れ様でした。



濡れても平気！磨き作業！



小フェールの掃除！



側面の汚れ落とし！



オーバーフローも美しく！



進め！水中デッキブラシ隊！



気合いを入れて前進！



こちらは「水につかり隊！」



ひたすら磨く！



5年生は除草作業！



かごいっぱい草！



大量の草！活動の証！



紐で結んでしっかり固定！



確認しながら丁寧に！

指導主事要請訪問！ひまわり学級の授業を参観！

石川県教育委員会中能登教育事務所の指導主事を招聘して、授業改善や学級経営などについて学ぶ、要請訪問を計画的に行っています。5月下旬から6月上旬にかけて、ひまわり学級での授業の様子を参観していただきました。

ひまわり1では、2年生は算数科「長さをcm, mmで表そう」ということで、様々な長さをcmやmmで表す練習をしました。一方、5年生は算数科「小数×小数」の練習問題を頑張りました。



3学年同時の授業！

ひまわり2では、1年生は算数科「なんばんめ」の学習で、2年生と3年生に並んでもらい「〇〇さんは、前から何番目かな？後ろから何番目かな？」と考えていました。2年生は算数科「長さはどうにはかるのかな」で、3本の鉛筆の長さ比べを通じて、長さの表し方を考えていました。3年生は算数科「わり算」で、おはじきを使って分ける操作を行い、一つ分やいくつ分の数を求めていました。

ひまわり3では、4年生は「3けた÷1けたのわり算の筆算」で、商を立てた後に計算すると0となり、一の位の数を下ろしていいのか迷う問題に挑戦しました。一方、6年生は算数科「分数×整数」で、様々な計算について数直線図を活用して求めていきました。

ひまわり2を参観していただいた竹下指導主事様からは、成果として学年に応じた教材の準備や活動の場の工夫が挙げられました。一方、今後に向けて、一人でできることを増やす、3つの学年が活動できる工夫をする、振り返りの際に学年全体で共有するなどの助言をいただきました。

ひまわり1と3を参観していただいた山崎指導主事様からは、成果として子ども一人一人に愛情をもって関わり、指導の工夫をしていることが挙げられました。一方、今後に向けて、学年のメンバーがつながり学ぶこと、振り返りを共有して一体感を味わえるようにすることなどの助言をいただきました。

竹下指導主事様、山崎指導主事様、貴重なご指導・ご助言をありがとうございました。

指導主事要請訪問！ことばの教室の授業を参観！

6月1日（木）に、中能登教育事務所の山崎指導主事様を招聘し、ことばの教室の授業を参観していただきました。

ウォームアップで気持ちをほぐした後、今回は自分にとって覚えにくい難しい漢字を工夫してマスターすることに挑戦しました。「様」という漢字は「木を書いて、ソ書いて、縦棒はねて、ソ書いて、く！」と唱えながら、筆順通りに「様」を正しく書いていました。また、「深」という漢字は「彡書いて、ワ書いて、八書いて、木！」と唱えながら書いていました。楽しく、自分に合った方法でマスターすることができ、とてもうれしそうでした。

授業整理会では、成果として自己決定の場がしっかりあったこと、パソコンを有効活用していたこと、短時間のメニューで集中を促したことなどが挙げられました。一方、今後に向けて、教師自身が考えを与えるのではなく、子どもから引き出すこと、子どもの発言を待つ勇気をもつことなどの助言をいただきました。

山崎指導主事様、ひまわり学級に引き続き、貴重なご指導・ご助言をありがとうございました。



自分で考案！漢字マスターの技！





指導主事要請訪問！2年1組で研究授業！

算数

6月6日（火）の5限に、2年1組で算数科研究授業を行いました。100より大きい数の表し方について考えていきました。

はじめに、たくさんのクリップが示された図が提示され、その数を工夫して数える活動が行われました。教科書の挿し絵、パソコンのシート、実物のクリップの中で、自分のやりたい方法を選択し、数えていきました。思ったよりも時間がかかり、大変そうでしたが、みんな昨年度の学習で学んだことを活かし、10ずつのまとまりをつかって全部の数を求めていました。その後、235という数について「100が2こ、10が3こ、1が5こ」という位取りで理解しました。児童は最後まで粘り強く考え、学び切りました。



クリップの数を、協力して求める！

授業整理会では、中能登教育事務所の池島指導主事様から、成果として児童が最後まで意欲的に学んでいたこと、活動の中で自然に助け合って学ぶ姿が見られたことなどが挙げられました。一方、本当に追究させたいことは何であるのかを明確にすること、位取りは中学校数学科の文字式($100a+10b+c$)につながっていくことなどの助言をいただきました。

池島指導主事様、数学科との系統性も含めた分かりやすいご指導・ご助言をありがとうございました。



教科書で考える！



パソコンで考える！



全員の学び方をモニタリング！



位取りでまとめる！



低学年部会で協議！



授業場面を踏まえた指導助言！



リコーダー講習会！基本を学ぶ！



6月8日（木）に、3年生を対象として、リコーダー講習会を行いました。今回は、初めてリコーダーを手にした3年生に、リコーダーの魅力や吹き方、保管などの基本を理解してもらう目的で、昨年度に引き続き講師の先生を招聘し、開催しました。

息の出し方、タンギング、指使いを中心に、実演を交えて分かりやすく説明していただきました。特にタンギングでは、「タカタカ、ティキティキ、テュクテュク、テケテケ、トコトコ！」という言葉の速く正確に発する練習を楽しみながら繰り返していました。また、最後に、通常のソプラノリコーダーやアルトリコーダーよりはるかに大きいバスリコーダーや手のひらサイズの極小リコーダーが紹介されると「わあ！すごい！」と驚きの声が上がっていました。先生が奏でる演奏に自然に身体が動き、歌を口ずさみ、手拍子を送り、リコーダーの音色に魅了されていました。



自由の女神のポーズで、シャキッ！

昨年度はコロナ禍の状況で、児童は吹くことはできませんでしたが、今回は先生の指示を守って、吹くことができました。これからの音楽の授業が楽しみです。講師の中村先生、楽しい講習会をありがとうございました。



アルトリコーダーに驚き！



バスリコーダーの重厚な音色！



極小リコーダーに驚嘆！



世界を知る！もしも世界が55人の村だったら！

6月13日（月）の5・6限に、6年生を対象とした国際理解教育が行われました。金沢星稜大学の清水先生とゼミの学生の皆さんによるワークショップ型の学習で、ここ数年、6年生の総合的な学習の定番となっています。テーマは「もしも世界が55人の村だったら」で、ちょうど55名の6年生が世界の総人口となるよう工夫されていました。

オープニングでは、各国のゲストに扮した学生さんが民族衣装を身につけて登場し、異国ムードを盛り上げていました。その後「世界の総人口は？」「世界で医療を受けられない人の割合は？」「読み書きできないまま大人になった人の割合は？」などのクイズがあり、すべて55人中何人として答える工夫がなされており、自分事として考えることができました。

後半は、アメリカ、アジア、ヨーロッパなど世界のエリアごとに集まり、人口比を実感するとともに、一人一人の名札に書かれたキーワードに基づいて仲間を探したり、集合したりして興味深く学ぶことができました。また、実感を伴って貧困や戦争など世界の諸問題について考えることもできました。

今後、テディベアプロジェクトで台湾の学校とオンライン交流の機会も設け、世界とつながったリアルな学びも行っていきます。清水先生、学生の皆さん、有意義な時間をありがとうございました。



ワークショップ開始!



クイズで世界を知る!



薬をゲットできるのは!



キャンディの分配に苦慮!



今日の学びの振り返り!



自分の思いを堂々と!



投げる力のアップを! 全学年で挑戦!



昨年度のスポーツテスト等の結果から、本校児童は投げる力に課題があることがわかりました。そこで、体育科の授業や、1組系列対2組系列の運動対決などを活用して、その力の向上を図っていきます。

1年生は、的にボールを当てる運動を行い、楽しみながら投げる動作の基本を学習しています。2年生以上は、県教委が実施している「スポチャレいしかわ」の種目の一つである「シャトルボール」にチャレンジしています。これは、低学年は5m、中学年は7m、高学年は9mの間隔でボールをノーバウンドで投げたりキャッチしたりする競技で、3分間にやり取りできた回数で競います。

6月14日(水)現在、全ての学年が県内の上位にランクインしています。この調子で、どんどん記録を伸ばしたいものです。めざせ、TEPPEN!



的にをらって、えいっ!



めざせ、新記録!



待ちに待った、プール開き！



6月14日（水）に、プール開きを行いました。先週予定されていましたが、天候が悪く、延期されました。この日も、朝から曇り空で、午前中に雨も降り始めるとの予報でしたが、午前10時頃からはお日様も顔を出し、予定通り6年生が全校児童を代表し、実施することとなりました。

はじめに、期間中の安全をみんなで祈願した後、いよいよプールへ。久々の水の感触に、方々で「冷たい！」という声が上がっていましたが、笑顔いっぱい楽しんでいました。最後に、記念撮影をして、短時間でしたが今年度の初プールを終了しました。

今後、本格的に水泳学習が始まります。泳力アップの練習と、水難から命を守る訓練に全校で取り組んでいきます。健康管理や水着の準備等、よろしくお願いします。



久々のシャワー！



水の感触を楽しむ！



みんなでジャンプ！



編集後記「みんなの歓迎がうれしかった」～羽咋っ子の絆～



6年生の図工の時間、「自分のお気に入りの場所」をスケッチする学習が行われていました。説明の後、各自が校舎内を移動しながら、自分にとっての最高の場所を選んでいました。

ふと、児童玄関前の廊下に行くと、この4月から本校に転入した児童が既にスケッチを始めていました。どうしてこの場所を選んだのか尋ねたところ、「初めて来た日に、みんながたくさん挨拶をしてくれて、すごくうれしかったので、この場所にしました」との返答がありました。「そうか、ほっとしたんだね」と言うと、「すごく緊張していたけど、みんなが歓迎してくれたので、うれしくて安心できました」とはきはき答えてくれました。この児童は、毎朝の挨拶運動でも正門の所で90度に腰を曲げてお辞儀し、笑顔と爽やかな張りのある声で、「おはようございます！」と下級生や保護者の方々に挨拶をしています。

みんなとの出会いの場所をお気に入りのにした児童を見ながら、人と人との温かな関わりの中で育つことの大切さを実感しました。AI、GIGAなど、どんどん進化する現代にあって、最後はそれらを使っていく「人」「人と人との関わり」という不易の部分が大事になっていると感じます。羽咋っ子にとって、この学び舎が仲間との関わりや切磋琢磨を通じて、逞しさと温かな心を育む場であってほしいと切に願っています。



みんなが迎えてくれた、この場所